

タイちゃん だより



発行者
柏崎総合医療センター
看護部長室

平成30年10月29日
第6号

kashiwazaki-ghmc.jp/nurse/massage/

秋も深まってまいりました。私はこの秋プライベートな目標を一つ達成することができました。目標を達成した後に燃え尽きてしまう人もいます。目標を達成できそうになったら次の目標を視野に入れておくことで、燃え尽き症候群を防ぐことができるそうです。公私共に具体的な短期目標と長期的な目標を掲げ、次の目標に向け始動します。



看護部研修会

最強医療コミュニケーション なんでもねんか

9月18日（火）、Wマコトのお二人をお迎えし、研修を行いました。地域の看護師にも参加してもらい総勢88名の楽しい研修会になりました。

『笑い』は、人間が心の中で感じる喜び、幸せ、愛情などが笑顔になって表れる“感情”

笑いの五原則は、安・共・認・楽・善の5つの要素で成り立っています。

安：安心・安全・安定が人間を笑顔にする

共：共通・共感・共同が人間を笑顔にする

認：認めるという行動が人間を笑顔にする

楽：快の刺激が人間を笑顔にする

善：善の行動が人間を笑顔にする

笑いの本質は人を喜ばせる・人を輝かせるコミュニケーションです。



Wマコト：笑いの力 引用

マネジメント研修 ～看護管理の第一歩～

看護師長会主催 3回シリーズの第2回マネジメント研修が9月28日に行われました。

第1回の「看護管理の概要、看護専門職の役割と機能」に続き、「グループマネジメント」について講義とグループワークを行いました。組織や集団について学び、その中でリーダーシップ、メンバーシップを発揮するためのコミュニケーション技術を学びました。次回は「人材育成について」考えます。



看護倫理研修

厚生連看護倫理研修が9月29日に長岡中央総合病院で行われました。当院からは5名出席しています。

主任会でも毎年、看護倫理研修を行っています。今年度は、事例を基に各部署でカンファレンスが行われています。

そのとき、誰が・何を・どうする？

患者さんが予期しない急変・死亡となった事例を通し、どのように動き、何に注意しますか？

Expert Nurse 11月号の特集は、**こうすればできる！身体拘束ゼロ**



「本当にできるの？」から「こうすればできる！」へ身体拘束をしない看護です。

「やむを得ない」3要件（切迫性・非代替性・一時性）をすべて備えていても、アセスメントし、拘束しないためのケアの方法や環境整備について、検討を続けなければなりません。それは、看護師だけでなく多職種が協力して行うべきことです。身体拘束解除へと踏み出すためのヒントが書かれています。研修室にある看護部の図書も活用してください。

10月17日 リフレクション研修発表会

リフレクションは、看護の質を高める方法の一つとして、自身の看護を振り返ります。

患者さんとの記憶を辿り振り返りながら、文字にしていく。そしてそれを誰か、もしくは自分自身と語り始めることから始まります。体験したことをどのように考えて行ったのか可視化し、そこで活用もしくは活用できたかもしれない看護の専門知識を明らかにしていきます。

見えにくい看護の暗黙知を自覚し見える化し、ディスカッションをすることでさらに深く考えることができました。

リフレクションを習慣化することで看護の質を向上していきましょう。参加できなかった方は、各部署にある「リフレクション研修レポート集」に目を通してみてください。



院内認定コース：感染管理研修

今年度も院内認定コースを行っています。

目的は、感染症発生時に的確な報告、対策の実践、情報収集ができ自部署で感染対策のリーダー的役割を担うことができます。

6回シリーズで、研修のほかにICTラウンド体験も行われます。最後は、院内認定テストを受け認定証明書が発行されます。

10月19日の研修では、事例をもとに感染対策のリーダー的存在として行動をシミュレーションしました。来年度も開催予定です。興味のある方はぜひ参加してください。



看護学生へDMATの説明と北海道胆振東部地震での活動の様子を津吉医師から伝えてもらいました。災害看護に興味を持っている学生が大勢いました。

